

水稲初期除草剤による雑草防除

古川農業試験場・農業センター

1 取り上げた理由

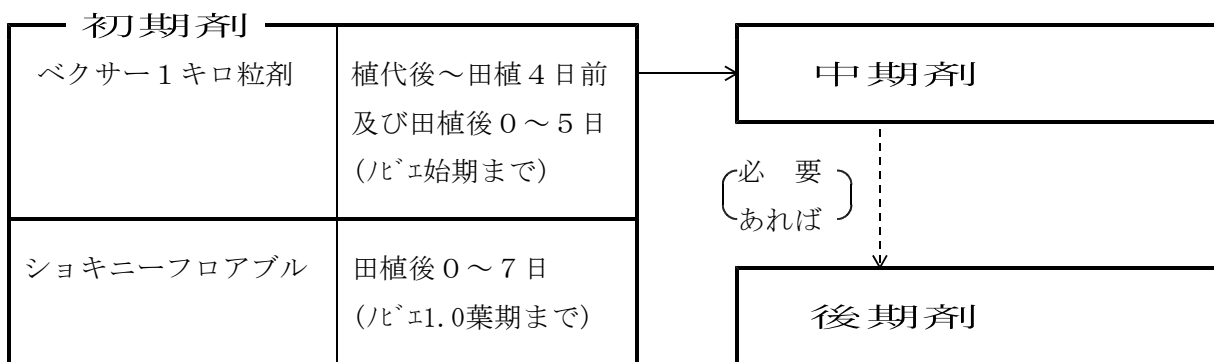
水稲初期除草剤について検討した結果、実用性が認められたので参考資料とする。

2 参考資料

1) 有効成分及び薬剤名等

- a ペントキサゾン粒剤（商品名：ベクサー1キロ粒剤） 1.5%
性状：類白色細粒 毒性：人畜毒性 普通物，魚毒性 B類
- b ブロモブチド・ペントキサゾン水和剤（商品名：ショキニーフロアブル） 18.0，4.0%
性状：類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性：人畜毒性 普通物，魚毒性 B類

2) 防除体系



3 利活用の留意点

- 1) 後処理剤との体系で使用する。
- 2) 植代直後の散布に当たっては、効果を安定させるため、土が落ち着いてから散布する。
- 3) 苗が水没するような深水状態では、葉鞘褐変や流れ葉が生じるおそれがあるので水管理に注意する。
- 4) 軟弱徒長苗，極端な深植え，浅植えでは初期生育を抑制するおそれがあるので使用しない。
- 5) れんこん，くわい，せりなどの生育を阻害するおそれがあるので，散布田の水田水がこれらの作物に流入しないようにする。

問い合わせ先：古川農業試験場栽培部 電話 0229-26-5106
農業センター農産部 電話 022-383-8123

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

- a 化学物質による生育調節・雑草防除及び新資材に関する試験 平成7・8年 古川農業試験場
- b 新資材による育苗及び成長調節剤並びに雑草防除に関する試験 平成8・9年 農業センター
- c 農薬展示試験（除草剤）平成11年 仙台，古川，小牛田地域農業改良普及センター，植防協会

2) 参考データ

表1 使用方法と除草効果及び水稻への影響

試験名 (除草剤名)	試験場所	年度	田植後の 処理時期	処理量 (ml/10a)	除草効果 ⁷⁾		水稻への影響
					一年生雑草	多年生雑草	
KPP-314-1kg粒剤	古川農業試験場	平7 ¹⁾	-4, +0, +5 → (+21)	1,000g	極大	極大	無
(ベクサー1キロ粒剤)	農業センター	平9 ²⁾	+0	1,000g	極大	極大	微(生育抑制)
KUH-958フロアブル	古川農業試験場	平7 ³⁾	-4, +0, +7	500ml	極大	極大	小(葉鞘褐変, -4処理)
		平8 ⁴⁾	→ (+25)	500ml	極大	極大	無
(ショキニーフロアブル)	農業センター	平8 ⁵⁾	+5	500ml	極大	極大	無
		平9 ⁶⁾	+0	500ml	極大	極大	微(生育抑制)

注1) DPX-84M粒剤(+21)との体系処理。処理時のノビエの葉齢は，処理時期順に，前，前，始である。

注2・6) 田植同時処理。処理時のノビエは，発生前。

注3・4) モリネットSM粒剤(+25)との体系処理。処理時のノビエの葉齢は，処理時期順に，前，前，1.0Lである。

注5) 畦畔処理。処理時のノビエは，発生前。

注7) 除草効果：残草率 極大10%以下，大11~20%，中21~40%，小41~60%。

表2 平成11年度農薬展示試験（除草剤）成績

除草剤名	試験実施普及センター等成績				備考 (対照薬剤)
	仙台	古川	小牛田	植防協	
ベクサー1キロ粒剤	+6 - A	+4 - A			マメットSM1キロ粒剤，クミショットSM1キロ粒剤との体系 (ソルネット1キロ粒剤)
ショキニーフロアブル剤	上段 中段 下段	+4 - A	+4,5 1~1.5 A	+4,6 1~1.5 A	マメットSM1キロ粒剤，クミリードSM粒剤との体系 (シゼットフロアブル・ソルネット1キロ粒剤)

注) 各欄の数字の見方
 上段：田植後処理時期(+日)
 中段：処理時のノビエ葉齢(前：発生前，始：発生始，-：未発生)
 下段：総合評価(A：普及上問題なし，B：更に検討したい。)

植防協の試験圃場は，迫町・瀬峰町に設置。

3) 発表論文等

平成12年度県防除基準

平成12年度県稲作指導指針

参考価格：ベクサー1キロ粒剤 600円(1kg)

ショキニーフロアブル剤 1,500円(500ml)